



a trickster

克典

rebirth

25までに書いた曲をmoratoriumとともにrecordingした。

recordingそのものは2003年には終えたが，track downは2004年。

学芸会レヴェル

頼むから 論理的に話をしてくれ
憶測でモノ云ってないで 仔細に吟味してくれ

ガキみたいな言い掛かり イデオロギストのこじつけ
チューニング1Hzずつ ずさらされているような気がする

三文役者と大根役者の田舎芝居になんてカネ払えない
調子外れの台詞回しに月並みで見え見えの筋書き
茶番につきあってやっただけでも感謝しな

抜刀するなら鞘棄てな腰砕けの啖呵は滑稽だからさ
そんなにナーヴァスなのは自信のなさの裏返しだよ

ご都合主義のinword 客観性ってコトバご存じ?
独り善がりのご教示 大きなお世話

三文役者と大根役者の田舎芝居になんてカネ払えない
調子外れの台詞回しに月並みで見え見えの筋書き
茶番につきあってやっただけでも感謝しな

(2003-06-02)

忠犬ハチ公

テメー 次の渋谷のSymbolの座でも狙ってんのか

云いなりになることしか能がないくせに
ぶら下がってることで生き永らえてるくせに
一端の口叩くんじゃねえ
イヌがヒトの言葉喋んなよ

下らねえ仕事に大仰な名前付けて
しきたり崇めるイヌ野郎

テメー 次の渋谷のSymbolの座でも狙ってんのか

ご褒美期待して目を潤ませてやがる
忠実さだけがたった一つの誇りですってか
「ボクを繋いでください」「何なりと云いつけてください」
御主人様がほら、アタマ撫でてくれるぜ

飼い慣らされて 餌も獲れねえのかよ
どうせなら牙剥いて 掛かってこいよ

テメー 次の渋谷のSymbolの座でも狙ってんのか

戒められた亡者

お前に必要とされているって錯覚が俺を支えていた
事実が明らかになったとき、俺はknock down喫した
よく「俺に依存するな」なんてほざいていたけれど
その実 寄り掛かっていたのは この俺の方だった

お前が去ってから色々なことが初めて判った
愛する者を喪うことの過酷さ、孤独の寂寥、
時が経つにつれ過去に引き戻されちまうってこと、そして
俺がどれだけお前を必要としていたのか

火炙りさながらの苦痛に 夜な夜なのたうち回っている
記憶は寧ろ執拗さを増し 猛威を振るっている
お前と過ごした歳月が最も倅せな時間だった でも
頼む 頼むから夢にまで現れないでくれ

(2003-07-23)

missing mother

貴女の要らない生き方 探せばいい
貴女と出会う以前の僕に還るだけ

甘美な記憶 拭い去ることに心砕き
この荒みきった大地 独り往く

喪われし母を葬り
慣れてしまえばいい この渴きに

欲張ればきりがないうつか溺れていた
断ち切れればいい かつての僕に還るだけ

飢えた獣の虚ろな魂
救いなど希まず 死を待つ

癒ぎから永久に隔たれ
憎悪と怨嗟に彩られし生命

(1997-04-25)

あざやかオフサイドトラップ

巧妙に仕組まれていたんだな
これっぽちも疑っちゃいなかった
油断大敵 リングの外まで吹っ飛ばされちまった
オンナハツギヲ ミツケテカラワカレルなんて迷信だと思ってた
明日は我が身 パンチ ドランカーの仲間入り

あざやかoffside trap してやられました
獲物の習性 識り尽くした上での計算ずくの戦略
お見事 offside trap 敵ながら天晴れ
今後 見習いたいと思います マキャベリズム

ずっとイミテーションを大切にしていた
贋物だなんて全然判らなかった
結構 演技派 コンゲームは俺が敗けた
周到なアリバイにトリック
ベストセラーだって夢じゃないぜ
でも夢オチは御法度 チケット払い戻せよ
(2003-07-28)

more accelerate

必要な時だけ逢うreasonableな関係
自律してない娘ってウザったいし
eliteでexcellentなHoney,you're so cool

ヒマな奴ほど他人に水挿すのがお好き
ヒマな奴ほど他人の足引っ張るのがお好き
naiveなジャリなんか放っとけシカトしてseatに着け
securityいちばん大切だなんてサイテーだよな？
Be risky,Be thrillin'
Honey,you're so cool

clin'してくるウゼー全てぶっ潰しちまえ
fuckin'security唾吐きかけ汗の雫飛び散らし
stroboのなか踊り狂うHoney,you're so cool

加速度そのものと化しこの世界突破しちまえ
加速度についてこれないウゼー奴なんてどうでもいいだろう
セコイ奴らのexcuse 嗤ってやれ
退屈symbolizeするウゼーツラ
Do fuckin' dance,Do fuckin'shout
More Accelerate.
(1996-12-20)

excuse

LLDCの惨状に胸痛めながら
ボクの偏食は直らない
食べかけのハンバーガーもゴミ箱行きさ

アンリ=サン=シモンの産業主義採択するボクは
ヴォランティアより働くさ
でも
タバコ税で誰が救われると云うの

いつか罰されるだろう
いっそ開き直ろうか
欲望の渦に捲かれ
溺死しちやおうか

聖書 開いてみたこともないのに
Christmasには消費が活性化する
原発反対を叫びながら
ボクの室は家電で溢れ返ってる

いつか罰されるだろう
いっそ開き直ろうか
欲望の渦に捲かれ
溺死しちやおうか

(1999)

朽ちたる樹

お前の望むような形を与えることができなかった
こんなにも愛していたというのに
何故そんなに憎しみを募らせるまで俺といたの
独りが怖かっただけ？

貴方からは愛が伝わってこない そう云い遣し
朝の光が爆ぜる扉に消えた

だから俺は唱うのさ こんなブルースを
温々と育ってきたお嬢様には解らないだろう
だから俺は 誰も見向きもしないステージで
お前は無邪気に他人を傷つけて、自覚もない

俺たちの終わりは惨憺たるものだった
契り 反故にして 罵りあった
お前のしがみつきがいつか 愛のようにおもえた
でも 実は俺じゃなくてもよかったんだな

じぶんだけが苦しんできたなんて 正気かよ
呑気も度が過ぎれば不愉快だ

無駄になっちまったエンゲージリング
過去に放り投げ ひとつ溜息をついた
だから俺は唱うのさ こんなブルースを
かつて二人で育てた朽ちたる樹を弔うために

喪うことを怖れた余り それが現実のものとなった
血に濡れたknife握り締めた俺を安堵感が抱きとめた
(2003-08-11)

rebirth

忘れかけていた飢餓感
旧友との再会よろしく 憎まれ口叩いた
俺を柔らかにくるんでいた空気は
俄に尖り 容赦なく 衝き刺してくる

何一つ 壊れないものなんてなかった
解ってはいたけれど 堪らない

carry on 独りごちて 運命と揉みあう
生命の命ずるままに 身構える
I never wanna die. ドラマは終わらない
生命の命ずるままに 身構える

虚無や冷笑は疎ましい
此処は深淵だと いい加減 気づけよ
思えば幾つもの奇蹟が起こった
生きてゆくにはそれで充分だろう

喪う恐ろしさに立ち向かわなければ
もう親愛なる者を離したくない

(2003-08-01)

Babel

初出: 2008-08-24

渴愛

孤独だとおもいらされ 安らかな死を希む夜更け
出鱈目なおとぎばなしの破片が 躰じゅうをぐちゃぐちゃにしてゆく
烈しい憎しみが 毒のように躰じゅうに廻り
喉の渇きに堪えられずに 海の水に口をつけた

夕暮れの公園 置き去りにされそう
雑踏に立ち尽くし 識った貌を必死にさがした

愛してほしい 愛してよ？ そんなんじゃ全然足りない
ありのままの私を 愛してよ？
さもなきや きっと 逆恨みしちゃうよ？

何故独りぼっちなの 私は希まれない子供
眠剤bourbonで流し込んで 舗装された荒野に転げでる

もし此の境遇が 罰でも身に覚えがない
ね 優しくかったパパは いつになったら お迎えに きてくれるの？

say yes or no

すっかり悟っちゃって薄笑い板についちやってんのに
鉄爪引くこともできずにお恥ずかしいったらありやしない
随分excuse積み重ね 水ならぬ alcoholに流して
そんな大人になりたくてせつせと生き延びてきたの？

生きることは戦うことなり
惰眠を貪ることに非ず

say yes or no. さもなきや雁字搦めになっちまうぜ
say yes or no. eat to live,and not live to eat.
多少生きづらいですがno pain,no gain.
傷を舐めあう羊の群れにrocket missile撃ち込みてえ

priorityも決められずに右往左往するロバみたいに
まごついてる その間に 外堀埋められちまうよ？

何をそんなに怯えているの？
敵がないヤツは味方もいない

say yes or no. さもなきや雁字搦めになっちまうぜ
say yes or no. eat to live,and not live to eat.
多少生きづらいですがno pain,no gain.
傷を舐めあう羊の群れにrocket missile撃ち込みてえ

ウール99パーセント I'll never ask again 'why don't you fight?'

真偽の程は定かじゃないのに 趨勢鵜呑みの羊さん
その群に紛れた狼の咆哮 ウールに吸収される
感情に溺れて予断混じりの 都合いいstory組み立てて
じぶんこそがヒガイシャなんだと 言い募る羊ども

ヒガイシャ溢れかえってるけど 加害者はとんと見当たらない
狼と羊のあいだに喧しい”Why?”

しゃらくせえ 狼がどれだけ吼えてみたって
しゃらくせえ 羊どもそよりとも動かず
仲間の顔色窺い 他者の欲望に倣う
群に紛れた羊は見分けることができない

いままで巧くいかなかったワケ 近頃やっと解った
それはuniversal protocolがどこかにあるって夢想
誰も気高い生き物なんだと 思い込んでいたけれど
誰も羊の皮を被った狼なんて間違い

羊は狼になれないし 逆もまた然り
そんな魔法 ハリーポッター だってムリだから

だけど 大概にしないと ジンギスカンにしちゃうよ？

ice trigger

破滅を希む夜 throttle開け放つ
angel dustのpusherって誰か識らねえ？
覆らぬ事実 甘美な悪夢
真綿で頸を締めつけられる

眼に映るもの手当たり次第に滅ぼしたい衝動
海の水が喉の渴きに躰纏わせる

その唇手荒に塞ぎ お前を捌け口にする
三〇枚の銀貨は渡したろう？
血の通った乳房貪り お前を捌け口にする
三〇枚の銀貨で買ったalibi
娼婦にねだった 愛していると云ってくれって
愕いた貌のあと お前そっと耳打ちした

破滅を希む夜 throttle開け放つ
berettaさがして夜の街 駆け抜ける
過ぎ去った時の嵩 その重みに思い馳せ
自らの墓穴 掘り下げる

もう届かない もう還れない もう叶わない とりかえせない
つめたく冷えた鉄爪がユメを壊死させる

be free

形振り構ってないで 愉しみ尽くすことが 勝敗を決する
汗に塗れて追い掛ける 例え孤立しようが 主人公ペルソナ引き受ける
逆境になればなるほど心踊るってヤバくねエ？ これって所謂マゾっ気？
テメーの理想の実現 道程はかなり遠い 気を休めるにやまだ早過ぎ

快樂遠ざけ老後を先取りrisk恐れているばかり
理想も持たざる戦わざる者 何ならサル山に帰れ
一体お前幾つまで生きるつもり？

遊び倒せ 決して倦むことなく 働くことも恋することも
遊び倒せ 決して倦むことなく 一切合切遊び
遅かれ早かれ望まざると 老いさらばえて 消え去ってゆくのだから
何なら遊び倒せ 何なら笑い飛ばせ 何なら一切合切 遊び倒せ

煮ても焼いても喰えねエ どんなサイテーなヤツでも 敵役にやうってつけ
子供の頃に憧れた 正義の味方気取りで 渾身のstraight見舞ってやれ
中途半端な奴らが我が物顔でのさばる そろそろ一掃してやれ
才能認めたくないちっちゃえバクテリアどもが 出る杭を蝕む

そんなパンチじゃオレは倒せない 紛いものはもう要らない
まだ矢は尽きちゃねえ 刀折れちゃねえ そして何より諦めちゃねえ
他者の欲望なんざ識ったこっちゃねえ

女神降臨

貴女がこの地上に在るだけで嬉しい
一喜一憂させられる その仕草の一つ々に

書き割りならば云うは易いけど 本音となると云いだせなくて

永遠なんて決してないんだろうけれど 確かに鼓動が早くなる
貴女は誰も識らない僕を連れてきて 僕にひきあわせてくれた
ただ一緒にいたい 貴女の息吹に耳を欝てていたい
ただ一緒にいたい 貴女の笑顔を傍で見たい

二人が融けあうと 貴女はshyに微笑む
一緒ならば きっと生き残れそうな気がする

祈りの虚しさは識っているさ それでも祈らずにいられない

Let's break

highwayをかつとばしてオーロラでも観にいこう
とるものもとりあえず come in back seat of my car
バカデカイトレーラー出し抜いてトップに躍りてた
なんかソニックブーム起きそうだし 吹っ飛ばされるなよ

潮の香りが鼻腔擦る 光溢れる海面スレスレ 滑空してゆく鷗の群
無限のなかの有限 水平線に眼を凝らす heartに効くkira^2 no problem oh yeah!

uh... くすんだ夜を衝き破れ
uh... 組み伏されてしまう前に
おそろしく複雑なstep踏んで アイツらの度肝抜いてやろう
ありえない能天気な思考回路で アイツら黙らせよう

スカしてないで愉しめよ あの頃に戻ってさ
裸で生まれてきたんだし裸で去るのだから
一面に散らばった太陽の破片拾いあつめ
値段のつけられないアクセサリ一紡がない？

いつまでも居心地のいい 安全地帯にとどまってないで そろ^2 攻めに転じてみれば？
愚痴ってないで起ちあがるのさ 甘んじてないで弾けてしまえ この塞がり 木っ端にしれやれ

concrete jungle cowboy

おんぼろのワーゲンバスに乗って 風のようにあいつは生きた
どうでもいいことはどうでもいいんだと嘯いて 仲間たちを支えた
根無し草か糸の切れた凧 呆れるくらいに変わらなくて
誰もがあいつの噂をするとき 何故だか嬉しそうだった

concrete jungleに迷い込んだcowboy 矢鱈と元気で武勇伝にや事欠かない
誰もが自由だとおもいださせてくれた 風は気儘さ 捉えられはしない

カネとモノとヒトが同列に扱われるこんなcommunity
誰も辟易しているのに何もしない
きっと窮屈だっただろうcowboy お前は旅を続けて

おんぼろのワーゲンバスに乗って 風のようにあいつは生きた

Babel

友を見識らぬ他人と見紛うとき 我々は自失する外ない
不意に現れた断層に立ち塞がれて いつまでも立ち尽くしていた

汝の敵 その裡なる地獄に思いを致せ
量れぬもの共にすることはきっとできない
寂寥に膝を折る弱きを赦したとて 己さえ済し崩しにならなければ

愛せなくとも 赦そう
互いの痛みは取り換えられない
受け容れられなくとも 赦そう
憐れむことを覚えよう
バベルの塔 その瓦礫のうえに人々はひしめき
それぞれの価値観 戦わせている
誰も異邦人
淋しさ堪えて
笑み浮かべ 優しくなろうとしている

己が願望の投影だったと衝きつけられて
自らじゃなく相手を怨む
弱さが示唆遮り やがて破綻の運びとなる
然るに嘆き 憤怒に溺れる

超人曰く‘すべては赦されている 真なるものはなにもない’
正しさも貴さも万華鏡の裡に隔たれ閉じ込められている
哀しみ転じた怒りよ その者への憐れみとなれ

百花繚乱

咲き誇る華もやがてはらはらと散りゆくように
一切は移ろい そして一切は行き過ぎてしまう

八風 吹き荒れ 祈りも虚しく 朽ち果て費えてしまうけれど
八風 吹き荒れ 切なる言葉も掻き消されて届かなかった
気の遠くなるような深き淵覗き
我が胸に波紋拡がる

されども華は滅びることなく 永遠を目指すだろう
散るを厭わず さあ 咲き乱れよ 血が涸れてしまうまで
如何なる絆もいつ果てるとも識れない
だからいま たったいま
街うことなく 分けあおう

幾ら契っても 誰もいつの日か別たれるだろう
一切は仮初め いつかきたるとき 無に帰する

八風 吹き荒れ 切なる願いも露と消えてしまうけれど
八風 吹き荒れ 一切合切 毀され 奪われ 押し流される
見失いそうになる されども華は
散るために咲くに非ず

百花繚乱 滅びることなく 永遠を目指すだろう

生きて
たといい何も彼も失くしても
生きて

Eureka

2011-09-11 『Eureka』 @新宿ゴールデン街劇場

Eureka

「幸せになりたい」なんて口にしながら
それがどんなことなのか判っちゃなかった
愁いがない筈はない生きてるのだから
充たされたものはきっと時にさらわれる

君が希むは量れて移ろうものなの？

Eureka I had been happy anytime in the past, I have been happy since my birth
Eureka I'll have been happy anytime in the future, I'll have been happy till the end
僕を取り囲んでいるこの世界に僕は棲んでいる

愛されてなかったかも？そんなわけないさ
そうでなければいま君はここにはいない
どれだけ愛されたら気が済んだの？
一抹の愛は愛じゃないのかい？

じぶんの涯てに至って やっとじぶんを受け容れられた

Eureka I had been happy anytime in the past, I have been happy since my birth
Eureka I'll have been happy anytime in the future, I'll have been happy till the end
棲んでいるこの世界をじぶんごと僕は受け容れた

The Brilliant World

手に手を取りあった約束さえ反故に
弱さを漉いて免罪符を拵えるか
紛い物溢れかえり 量れぬもの量り
詩は蹴散らされて 雅やかさは損なわれ

多生の縁 蔑ろにして そっと姿眩ます
徒華が如き宴 興を乗り継ぐは幸いなるかな

輝く世界へ飛び込め 勇気を奮い
そこは翼あるものの居場所に非ず
輝く世界へ飛び込め 迷い棄てて
翼あるものは羽ばたかねばならぬ
義が貴ばれ 眼を射る眩さ放つ國
自ら戦いし者だけが英雄を讃える

安直は蔑まれ、戦わざる者が
存在すること 赦されぬ領土持たざる國
おぞましきが排され 忌憚なく妍競う
孤立恐るるに足りず 同志が待っている

何を臆し躊躇う 所詮 一期は夢よ
与えられているは余生などではないだろう

moratorium

Under 18, 1990-1995

孤独

孤独なら傷つかない 孤独なら嘘はない
だけど 孤独だと笑えない
寂しくて 侘びしい

誰かを愛すれば それだけ苦しみが募る
誰かを憎めば 己までも憎くなる

人は変わってしまうものなのか 時に運ばれて
人は変わってしまうものなのか 周りに流されて

信ずる者は きっと 裏切られる
誰かを疑えば 疑わしい己に出逢う

(1992)

如月の海

夜明け前の砂浜に二人佇む
打ち寄せる高波 二人を象徴する様
如月 海は寒い 風も冷たい
身を寄せあう二人
人生ほど儘ならない 皮肉なものはないよね
蒼白い月明かりに海は紫
遥かな水平線 二人を象徴する様
二人は歩きはじめた 足跡がつく
東の空が霞みはじめた
人生ほど儘ならない 皮肉なものはないよね
(1992)

硝子細工

硝子細工 墜ちて毀れた 破片は粉雪
二人の愛 傷つけあって 終わり告げた

風に桜が散りゆくように 椿墜ちるように

硝子細工 美しくも脆い 破片は粉雪
二人の愛 硝子細工に似ている 切なく、儚い

やがて氷が融けるように 形あるもの皆、毀れてゆく
二人の愛は硝子細工

(1992)

人魚の森

冷たく人魚が嗤う 運命を愚弄するが如く
人魚の森へと誘う

生命 尽きることなく 若さ尽きることなく
それは幸せなのか 不幸せなのか

一〇〇年生き一〇〇〇年生き
世情を幾度となく視てきた
それでも人は人魚を求める
欲望の海にその姿を

永遠に孤独 生命ある限り孤独
五〇〇年の歳月を経てやっと巡り逢えた

一〇〇年生き一〇〇〇年生き
世情を幾度となく視てきた
それでも人は人魚を求める
伝説の海にその姿を

(1992)

春の女

咽ぶような桜吹雪の中 君の姿をさがしていた
陽だまりの中に君が消えた あの春からもう二年が経つ

長い黒髪が風に靡く
優しい微笑みが風に融ける
僕は君のその眩しさに心奪われていた

いま 君は何処にいるのいま 君は幸せなの
そうだといいね
(1992)

蒼い氷

美しい響きをたて 愛は粉碎した
破滅の運命 定められていても
愛した

抱き締めて 唇重ね
愛を感じ 確かめていた

恋愛する度 人はいつも
永遠を信じようとする
(1993)

冷たい焰

恋に乱れて 切なさに胸を貫かれ
意識薄れてゆく

愛は永遠に触れて融け
頬 伝う
愛してる.....

燃え上がる冷たい焰のように
愛してる.....
(1993)

流浪

何時まで 何処まで この旅路は

永遠にこの世を彷徨い
本当の愛を確かめながら

運命の悪戯 弄ばれる者達
あてもなく口づけた

(1993)

短冊

文月に君は生まれた
短冊に倅せ託した
天の川下る 二人の舟が

このまま果てまで 往こうよ

愛だけが二人を繋ぐ
短冊におなじ夢みた
朽ちない、途切れない愛となって

このまま果てまで 往こうよ
(1992)

slow down

生きるってraceでwinning runできる者など限られているのさ

so doin' slowdown,but doin' slowdown

跪き ガキのように慟哭して 必死に祈り続けた

so doin' slowdown,but doin' slowdown

winner and loser

薄汚れた白いスニーカー まるでこの僕のようにさ

so doin' slowdown,but doin' slowdown

暮れゆく夕陽を背にして 明日の行く先を案じた

so doin' slowdown,but doin' slowdown

winner and loser

螺旋

母の子宮より産み落とされしときから

予め 喪われし児たち

愛の醜貌識り 彼女と交わる

罪と姦する

哭し赦されぬこと識りながら二人螺旋として

たとい朽ちようとも

彼女の醜さをも愛し

たとい朽ちようとも

誰も解りあえないけど
独りにはなりたくない

傷つけあうこともあるけど
二人で暮らしていたい

誰も解りあえないけど
信じあうことはできるから

過ち 赦しあうことが
平和へと繋がってゆくから

(1993-11-06)

please save me

救いは
kissとか
言葉
だったりする

女神に抱かれ 児に還る
安らかな時空で

奥付

Copyright(C) 1990-2013 克典, RazorEdge. All Rights Reserved.

<http://razor-edge.net>

facade@razor-edge.net